

写真家・テラウチマサト

とやま多士彩オ

99

服飾史家

富山市出身
横浜市

中野 香織さん(56)

自身の幅広い見識でコンサルしているホテル「ザ・プリンスキャラード東京紀尾井町」の特別室で、服飾史家の中野香織さんを取材した。初対面の私を見つめ、旧知のように手を振る姿がチャーミング！ 富山中部高校から東京大、同大学院を出て、ケンブリッジ大客員研究員や明治大特任教授などを経て、今や服飾史家として研究、執筆、講演と活躍するアカデミックなキャリアからは想像できないフレンドリーさ。

「ジェントルマンシップとタンデイズムって対立する概念なんです！」とのっけから興味津々な話。ケンブリッジ大の図書館で「紳士の類いの本の多さに驚き、男性モードや歴史に興味を持ったのが服飾史家の始まり、とか。『ピジョンもなく東大に入学し』」「富山では、医者か公務員以外に仕事のイメージがあまり膨らま

見識高くフレンドリー

なかった」「カエルさえ解剖できないのに、人にメスは無理」と、現在の職業に至るプロセスを話す。

終始、面白発言連発！ 造詣の深さ半端ない。「啓発的なことを書かずに啓発する本を書きたい」と、この方の本は読むべし！と思う。

(文、写真ともテラウチマサト＝富山市出身)

＝毎週月曜に掲載します



興羽中学時代は卓球チャンピオン。「富山市で1位だった」と、今は？と聞いたら「全然やってない！」とにこやかに笑う



小学校の時には県立図書館の閲覧棚の本はみんな読んでいたという読書家の中野さんを象徴するよさげな姿でバチリ